

8. 1. 日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 2st Meeting

2025 年 3 月 16-19 日に、奈良で日仏国際共同研究 CREST-ANR NARRABODY 2nd Meeting が開催されました。

CREST：国立研究開発法人科学技術振興機構による戦略的創造研究推進事業

ANR：The French National Research Agency (ANR)

NARRABODY：Narrative embodiment: neurocognitive mechanisms and its application to VR intervention techniques（ナラティブ・エンボディメントの機序解明と VR 介入技術への応用）

本ミーティングは、NARRABODY を通じた認知神経科学、哲学（現象学）、ニューロリハビリテーションの今後の発展において、極めて重要なステップとなりました。学際的な連携をさらに強化し、今後の研究の深化と発展に向けた礎を築くことができましたと言えます。

詳細はこちら

<https://narrabody.org/2025/03/21/%e6%97%a5%e4%bb%8f%e5%9b%bd%e9%9a%9b%e5%85%b1%e5%90%8c%e7%a0%94%e7%a9%b6crest-anr-narrabody-2nd-meeting%e3%81%8c%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%95%e3%82%8c%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%ef%bc%81/>



8. 2. WEB シンポジウム 歩行障害の理解とリハビリテーションを開催

2025 年 1 月 24 日（金曜日）の夜にシンポジウム 歩行障害の理解とリハビリテーションを開催しました。

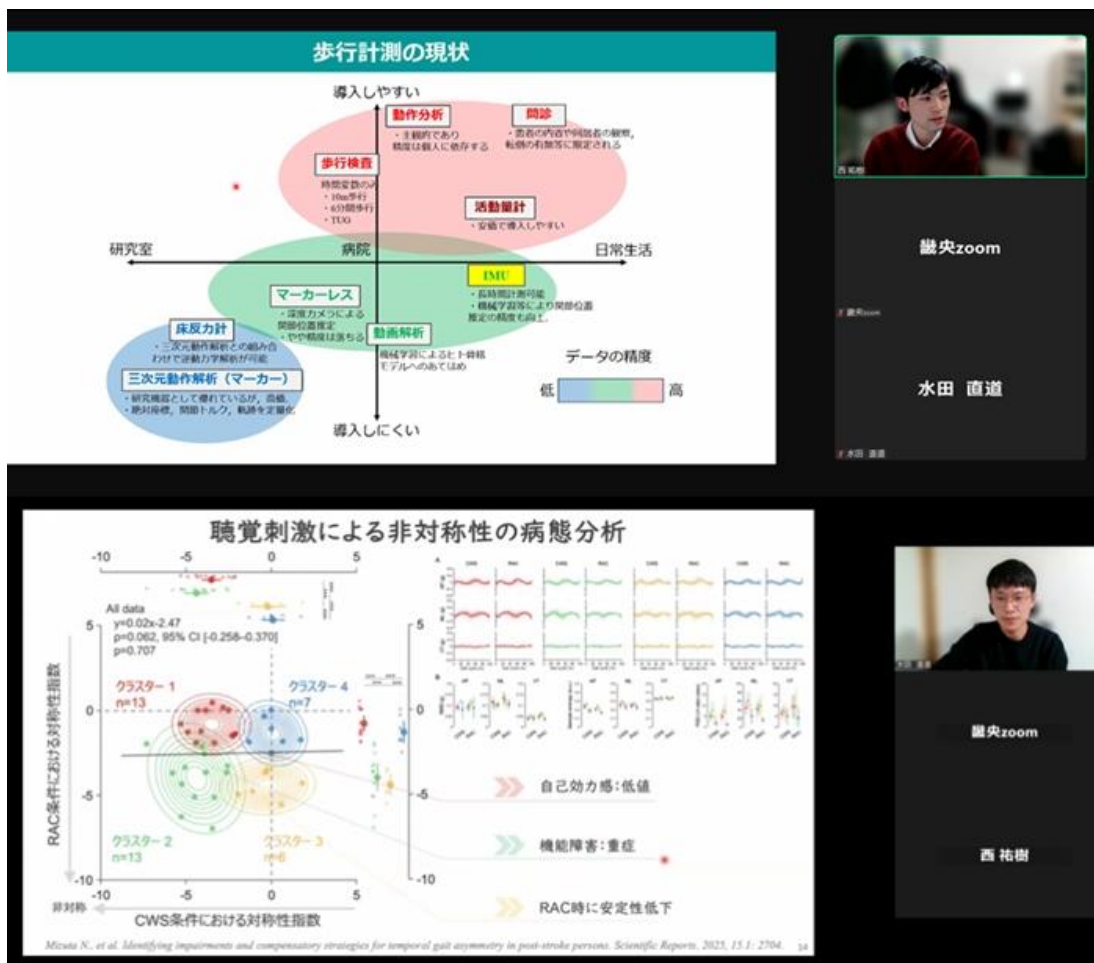
「痛みを有する症例の身体知覚・認知にかかわる脳機能とリハビリテーション」

【詳細はこちら】 <https://www.kio.ac.jp/nrc/2025/02/04/blog-15/>

「脳卒中後の歩行障害とリハビリテーション」 日本福祉大学 水田直道

「日常生活環境における歩行制御の可視化」 長崎大学 西 祐樹

水田さんのトークでは、臨床での歩行障害の評価について丁寧に説明して頂きました。その後、西さんからは最先端の歩行計測について紹介がありました。いまや IMU センサーで自宅や屋外の歩行についても評価することができるようになっており、さらにそこからリハビリテーションの計画をしていくということで、非常に近未来的な内容でした。



8. 3. 第4回 発達科学と小児リハビリテーション研究会を開催しました

2025年2月22日にWEB上で「第4回発達科学と小児リハビリテーション研究会」を開催し、96名もの沢山の方々にご参加いただきました。第4回では、特別支援教育と作業療法の接点を長年にわたり追求されてきた倉澤茂樹先生（福島県立医科大学）、自閉スペクトラム症（ASD）の運動制御を研究している菊地謙先生（東京大学大学院新領域創成科学研究科）、発達性協調運動症（DCD）の運動イメージを研究している橋添健也さん（畿央大学大学院健康科学研究科修士課程／医療法人和光会山田病院）から話題提供が行われました。小児リハに携わる研究者、臨床家にとって、学びの多い研究会になったものと思います。

【詳細はこちら】 <https://peatix.com/event/4217179?lang=ja-jp>



WEB開催 2025年2月22日（土）13:00-16:00

第4回 発達科学と小児リハビリテーション研究会

— Fourth Wave —

社会モデル×学校作業療法

これからの神経発達症領域におけるリハビリテーションの展開を考える

ASDとDCDの運動制御について考える



倉澤茂樹（OT, PhD）
福島県立医科大学

×



菊地謙（PT, PhD）
東京大学大学院

×



橋添健也（PT）
畿央大学大学院

×



司会・進行
信迫悟志（PT, PhD）

<https://kionredevelopment2024.peatix.com>



KIO 畿央大学
KIO UNIVERSITY